

# ジェンダー・ギャップをなくしていいこう

## まずは私から

あなたの周りで、性別や年齢など分りやすい属性で判断されたり、役割を決められたりすることで悩む場面はありませんか？

それと同時に、「なぜ？」と疑問に感じたり、仕組みや決まり事を変えたいのに変えられないと思ったりすることは無いでしょうか。

本市では、性別に関わりなく人権が尊重され、一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会「男女共同参画社会」の実現に取り組んでいます。自分の中に無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気付くことや、自分が望む生き方や働き方を叶えられる、多様な選択が可能となる地域や職場の環境づくりを進めています。



### 出前講座を行っています！

市内の希望する中学校で、出前講座を行っています。一人ひとりの価値観や考え方の違いを知り、「その人らしさ」に気付き、自分の考えや気持ちを言葉にすることや対話の大切さなどを学ぶワークショップを行っています。

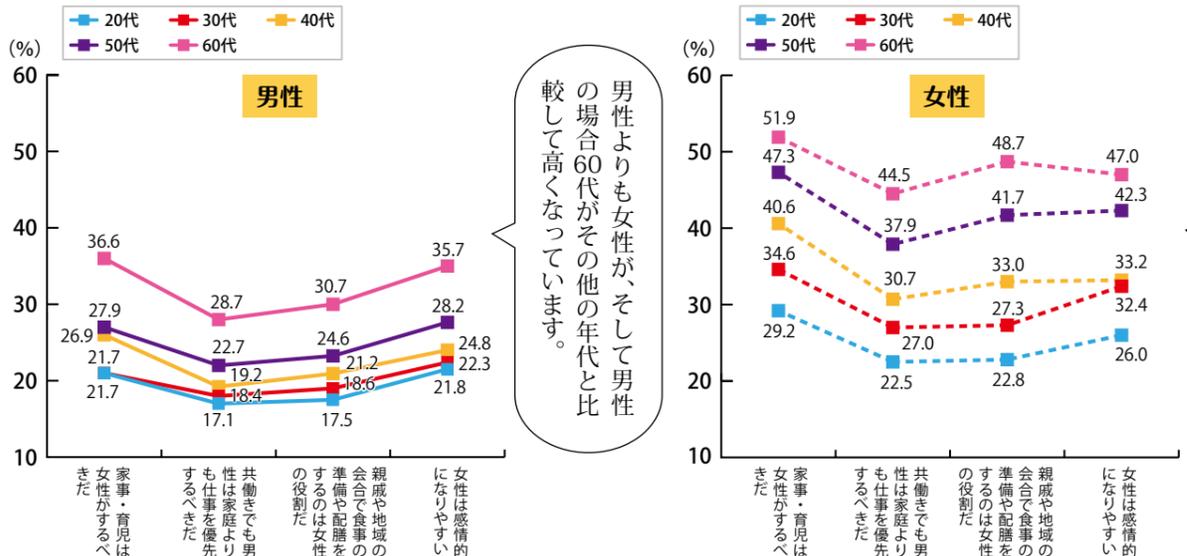


女性でも年代が高いほど経験した割合が高いようです。

男性よりも女性が、そして男性の場合60代がその他の年代と比較して高くなっています。

### 性別に基づく役割や思い込みを「直接言われた」あるいは「言動や態度から感じた」経験<性・年代別>

参照：令和4年度 性別による無意識の思い込みに関する調査研究(内閣府)



### 社会の動きから見てみましょう

固定的な性別役割分担が前提

#### 昭和モデル

- ・いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る世帯を前提
- ・長時間労働や転勤を当然とする雇用慣行

#### 変革

新しい生活様式・働き方

- ・若い世代を中心に、生活様式や働き方についての考え方が変化、多様化
- ・家族の姿の変化、人生の多様化
- ・単独世帯やひとり親世帯、共働き世帯の増加

#### 令和モデル

- ・希望が満たされ、能力を最大限に発揮して仕事ができる環境の整備
- ・仕事と家事、育児などのバランスが取れた生活
- ・女性の経済的自立

(令和5年版男女共同参画白書抜粋)

近年、さまざまな世代の理想とする生き方や働き方に対する考えが大きく変化し、人生が多様化しています。性別により役割を固定的に分けて考えることが前提の「昭和モデル」から、全ての人々が希望に応じて家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」に切り替えることが求められています。

### 地域活動でも令和モデルに

これまでの地域活動も、男性が中心に物事を決め、女性は女性の役割としての接待や補助的な仕事などに分けられる傾向が多くありました。

地域に暮らす皆さんの家族の形や働き方、価値観が大きく変化している中、性別や年齢にかかわらず、誰もが楽しく参加でき、必要とされる活動に変えていく仕組みづくりを考えてみませんか。

「女性部」ではなく「交流推進部」に変えてみよう

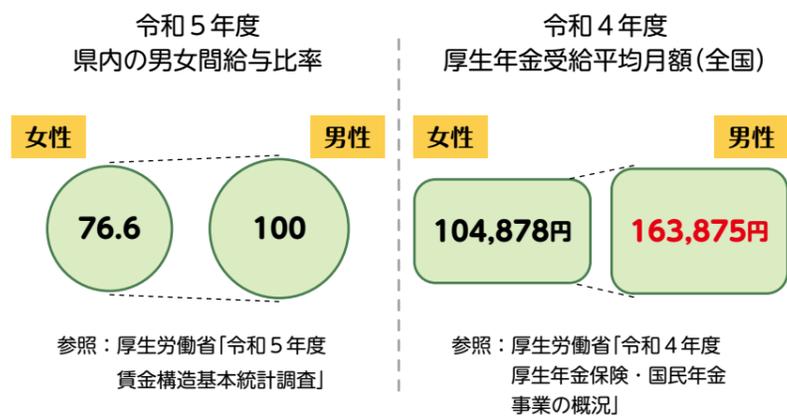
そうだね、誰でも参加できるね

世代間交流と子育て世帯を応援する活動を一緒にやってみよう

### 見直しのヒント

- ・女性や若者、また、多様な生活様式にも配慮した時間帯や曜日の設定
- ・役割や性別にかかわらず、誰もが発言しやすい雰囲気づくり
- ・行事などを行う際の役割分担を性別で決めない
- ・役員の数を男女半数に近づける

### 数字で見る男女の差



参照：鹿児島県統計課「令和4年就業構造基本調査結果 鹿児島県の概要」

参照：厚生労働省「令和5年度賃金構造基本統計調査」

参照：厚生労働省「令和4年度厚生年金保険・国民年金事業の概況」

### 日本のジェンダー・ギャップ

2024年のジェンダー・ギャップ指数は世界の146カ国中118位で、依然として、主要先進国の中では最下位です。

政治と経済の分野の値が低く、女性の労働人口参加率は低くないものの、管理職の割合の低さや男女間の所得格差などが影響しています。

### わたしたちができること...

ジェンダー・ギャップを解消するために、女性に偏っている家事や育児、介護などのケア役割を、性別にかかわらず役割分担していきましょう。

あなたの身の周りにもある性別により偏っている役割に気付く、その分担を見直してみよう。そして、多様な生き方や働き方を尊重するため、子どもの頃から刷り込まれている縛られた考え方に気付く、発想を広げていくことが大切です。

誰もが多様な生き方を選択でき、自分らしく活躍できる環境を作っていきましょう。

問合せ  
本庁コミュニティ課生涯学習・ひとみらい政策G(内線4741)